

# 統計について学びませんか？

音楽療法に携わっている人たちの中で、統計について学ばれた方は少ないと思います。「標準偏差」や「有意水準」という言葉を聞いただけで難しく避けてしまいたくなりますね。しかし、音楽療法の効果を他の領域の方々に知っていただくためには、何らかの統計処理をしたデータが必要となってきます。事例研究報告として経過に状況変化を記述し、考察することはよく行なわれていますが、それだけでは施設などへの報告としては訴える力が足りません。私の経験から思い起こしても統計処理をしたもの、統計処理でなくても何らかの図表で表した報告書を提出した施設からはそれまで以上の信頼と協力を得られています。

今回は、2回シリーズで武庫川女子大学の長谷川裕紀先生に音楽療法の評価に使える統計について、難しくならないようにお話ししていただくことになりました。学習した内容を応用できるように、Excelを使用して統計解析の実例を示していただきます。ノートパソコン（Excelをインストール済み）をお持ちの方は、両日パソコンをご持参ください。ノートパソコンをお持ちでない方は、持参された方とペアを組んで演習内容の確認をしていただきます。

## 第1回

日時：2月26日（日） 13：30～16：50

会場：西宮市民会館 402号室

テーマ：統計解析の基礎

講義概要：第1回では「統計解析の基礎」として、集めたデータをどのように整理し、データの特徴や傾向を把握するのにどのような解析法があるのかを学びます。また、相手にわかりやすく伝えるために必要となるグラフや表について、その利点を学習します。

### 1 コマ目 13：30～15：00

統計学の役割

音楽療法研究と統計学

データの種類

グラフ、表（パソコンを使った演習あり）

### 2 コマ目 15：20～16：50

データの分布と基本統計量（パソコンを使った演習あり）

度数分布、ヒストグラム

代表値（平均値、最頻値、中央値）

ばらつき（範囲、分散、標準偏差）

受講料：3500円

## 第2回

日時：4月9日（日） 13：30～16：50

会場：西宮市民会館 403号室

テーマ：音楽療法研究における統計解析の活用

講義概要：第2回では第1回の内容を基本に、実際の音楽療法研究場面を想定して、音楽療法の効果を統計解析で確かめる方法を学びます。適切な統計解析を行うことで、より明確に結果を記述することができます。そして、統計解析の結果をどのように文章に記述していくのか、またどのように解釈（考察）していくのかを考えます。

### 1 コマ目 13：30～15：00

音楽療法の効果を統計解析で確かめる

検定の考え方

帰無仮説と対立仮説、有意水準（パソコンを使った演習あり）

適切な検定法を選ぶ

### 2 コマ目 15：20～16：50

統計解析の結果を記述する

統計学的有意と科学的有意義の違い

受講料：3500円

## 講師プロフィール

室蘭工業大学大学院博士後期課程修了 博士（工学）

現在 武庫川女子大学生活環境学部食物栄養学科、短期大学部食生活学科 講師

武庫川女子大学栄養科学研究所 高齢者栄養科学部門 研究員

武庫川女子大学教育研究社会連携推進室 専門員

専門は医用生体工学、感性工学。大学院より音楽療法の評価研究に従事し、特に生体指標を用いた客観的な評価に取り組んでいる。武庫川女子大学の栄養科学研究所では、地域高齢者に対する栄養支援や体力チェック、運動、音楽などによる健康増進・生きがい高揚を目的に、様々な活動を実施している。

「音楽で楽しく健康のつどい」という活動では、音楽活動を学生が提供し、参加者の健康度について評価研究を行っている。また、教育面では全学的な共通教育科目「Excelで学ぶ基礎統計」、音楽学部応用音楽学科の「音楽療法研究法」の授業などを担当。

（文責 山田由紀子）